区分	マテリアリティ	取り組み	主なKPI（重要業績評価指標）	目標年	2023年度実績
E	気候変動への対策	CO ₂ 排出量の削減	対2013年度比46%削減（2050年ネットゼロ）	2030/2050	・対2013年度比5.0%増加（羽田空港内における当社グループのCO ₂ 排出量※1）
			ターミナル増築時のZEB oriented取得（T1サテライト）	2025	・施工会社決定、2024年5月より着工（2026年供用開始予定）
	限りある資源の有効活用	環境に配慮した素材・商材の導入	直営物販店舗（自主編集）の全店においてエシカル商品※2を展開する	2025	・直営店舗全店（編集店舗）37店舗中12店舗で取り扱い
			ターミナル増築時の木造木質化（T1サテライト）	2025	・施工会社決定、2024年5月より着工（2026年供用開始予定）
		廃棄物の抑制・資源循環	ターミナルで回収したペットボトルをすべて水平リサイクルする	2025	・専用回収箱を設置しリサイクル業者に引き渡す仕組みを確立
			⇒ ターミナルから出る廃棄物のリサイクル率を70%にする	2030	－
グループ飲食事業における食品廃棄量の低減に向けた課題の特定及び2025年度目標の設定	2023	・目標設定完了			
⇒ 当社グループ機内食事業における機内食製造時の食品残渣のリサイクル率95%	2025	－			
S	安心・快適で先進的な空港づくり	ターミナル機能の強化	SKYTRAX評価※3「5スターエアポート」継続（ターミナル増築、旅客動線の改善、サイネージの拡充、商業施設の多様化など）	毎年継続	・10年連続世界最高評価「5スターエアポート」を受賞
		安全・安心の確保	SKYTRAX評価「クリンネスエアポート No.1」継続	毎年継続	・8年連続「クリンネスエアポート No.1」を受賞
			防災訓練等の継続実施（150回/年実施・3,000人参加延人数/年）	毎年継続	・206回/年実施・3,662人参加延人数/年
		ユニバーサルデザインの推進	SKYTRAX評価「ベストPRM No.1」継続	毎年継続	・5年連続「ベストPRM No.1」を受賞
		ターミナル内移動電動カート・自動運転車椅子の全ターミナルへの導入完了	2025	・自動運転車椅子WHILLを第3ターミナルへ6台導入	
	デジタル技術の活用	5カテゴリ（①清掃②案内/翻訳③移動支援④警備⑤物販/飲食）におけるデジタル・ロボット技術の導入拡充	2025	・②T2i保安区域内に設置 ・④実証実験を実施、2024年下期導入予定	
	地域・地方への貢献	地方との交流創出	羽田空港という「場」を活用した地方・特産品の常設プロモーション店舗及びイベントスペースでのプロモーション展開を毎年24回以上実施	毎年継続	・2023年12月15日「羽田産直館」オープン ・地域連携プロモーションを40回実施
			羽田空港で培ったノウハウや導入製品（ロボット等）を、国内外空港などの施設へ年間50件提供	2025	・成約件数23件（Radi-Cool、ロボット、コンサルティング業務 など）
		地域社会への還元	地元大田区等の小中学生をはじめとした空港見学・職業体験プログラムの参加人数1,000人以上継続	毎年継続	・今年度195件実施/累計参加者約10,000名参加
			HiCityランドオープン（医療サービス・賑わい創出・交通結節点の提供などによる地域貢献）	2023	・2023年11月16日開業 ・2024年2月末「terminal.0 HANEDA」開業
	⇒ 研究開発「terminal.0 HANEDA」プロジェクトにおける地域連携について、3領域（①地域向けイベント開催、②地元企業参加、③地域周辺ツアー開催）で実施	毎年継続	－		
	人材育成	人材のプロ集団化	多様なスキルを持った人材の積極的な採用・育成	実績管理	・採用者における中途採用者の割合16% ・新卒採用における建築系・語学堪能者割合23% ・一人当たり育成時間10.8時間
新たな事業の創造・業務改善につながる産産連携、産学連携、外部出向の実施			実績管理	・産産連携、産学連携：4名（延べ24名） ・外部出向者数：21名	
従業員エンゲージメント向上		「自ら考え挑戦する人材」を促進するインナーブランディング活動（プラスワンプロモーション）の全グループ役職員への浸透	2025	・グループ20社の企業ロゴを刷新、統一 ・新企業ロゴ「ブランドブック」、社内報特別号配布	
DEIの推進及び人権の尊重	DEIの推進	男性の育児休業取得率100%、女性管理職比率40%※単体	2027	・男性の育児休業取得率：88.9%、女性管理職比率：38.8%	
		障がい者雇用率6.6%※単体	2025	・障がい者雇用率：3.6%	
	人権デューデリジェンスの実施	人権リスクの調査と課題・対応策の特定	2023	・人権リスク調査を実施し、課題・対応策を特定 ・主要取引先にアンケート実施	
		⇒ 人権リスク調査において特定した課題への対策の実施	2025	－	
G	公正な事業活動の推進	コンプライアンスの徹底	企業活動における不適切な行動（重大な不正行為違反）発生件数ゼロ	毎年継続	・企業活動における不適切な行動（重大な不正行為違反）発生件数：0
		サステナビリティガバナンスの強化	サステナブル調達ガイドラインの策定と取引先への周知※4	2023	・取引金額等をベースにTier1を特定し、570社に周知済
			⇒ サステナブル調達ガイドライン適合調査の回答率及び適合率の継続的改善	2030	－
	有識者との対話 年2回	毎年継続	・有識者との対話実績：2回		
	リスク管理の強化	リスク管理体制の強化	リスク管理委員会の設置と優先リスクに対するPDCAサイクルの確立	2023	・リスク管理委員会設置、優先リスクの特定 ・リスク管理委員会を2回開催し、PDCAを回している
			⇒ 優先リスクに対し、半期ごとにPDCAを実施	毎年継続	－
サイバーセキュリティ対策の強化		サイバーセキュリティ対策不備によるターミナルビル運用への重大な影響発生件数ゼロ	毎年継続	・サイバーセキュリティ対策不備によるターミナルビル運用への重大な影響発生件数：0	

※1 当社グループ保有の空港内車両による排出を除く

※2 エシカル商品の定義は、フードロス削減につながる商品、フェアトレード商品、リサイクル素材を使用した商品、認証ラベル・マークを取得している商品、地産地消を意識した商品、オーガニック商品、代替肉商品・代替ミルク商品等

※3 SKYTRAX：1989年創立のイギリスに拠点を置く航空サービスリサーチ会社。世界の空港や航空会社の評価を行っており、評価の項目は多岐に渡る。「5スターエアポート」（2014年から10年連続受賞）、「クリンネスエアポート」（2016年から8年連続1位）、「ベストPRM」（2019年から5年連続1位）、その他にも受賞歴あり。
PRMとは、「Persons with Reduced Mobility」の略であり、高齢者、障がいのある方や怪我をされた方に配慮された施設の評価部門のこと。

※4 2022年度に取引実績のある主要取引先